

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	町家活用推進事業			事業番号	008-058
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用	部	文化財課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①さかい利品の杜や町家歴史館などを活用した来訪魅力の創出		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	環濠エリアへの来訪者数		
		寄与するKPI	有	現状値	182.6万人(2019年度)	目標値	300.0万人(2025年度)
		有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9	
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市歴史的風致維持向上計画					
3	事業開始年度	平成 14 年度	点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化財保護法、堺市文化財保護条例、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、堺市立町家歴史館条例					

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民及び見学者(令和4年度実績 9,221名)	対象数	単位		
			—	—		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	古来から引き継いできた豊かな歴史・文化資源について、すべての市民が貴重なまちの資産として認識を共有し、文化財としての価値を守ると共に、より高めて次世代へ受け継ぐことができるまちづくりへ寄与することを目的とする。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> <li>堺の町家暮らしを伝える町家歴史館（重要文化財山口家住宅、登録有形文化財清学院）の魅力ある運営。</li> <li>鉄砲鍛冶屋敷の令和5年度末の開館に向けて、管理運営形態の検討及び保存修理工事や展示制作設置業務を進めた。</li> <li>平成25年11月22日に認定された「堺市歴史的風致維持向上計画」において、百舌鳥古墳群及び周辺区域と環濠都市区域を重点区域として位置づけ、国の交付金等を受けつつ、歴史文化資源について整備を行った。</li> </ul>				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者				
10	公民連携・協働事業					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	目標	目標			
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
				目標値	8,000	8,000	6,000	25,000
				実績値	5,742	9,221		
			達成率	72%	115%			
	当該指標を選定した理由	環濠エリア内で来訪魅力を創出する施設であり、また本市所有の文化財公開施設のため、明確な数値の計測が可能。						
	目標値の設定根拠・算出方法	山口家、清学院、鉄砲鍛冶屋敷総入館者数実数 ※令和5年度は山口家・清学院8ヶ月間休館、鉄砲鍛冶屋敷3月のみ						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	目標	目標			
				令和3年度	令和4年度	令和5年度		
				目標値	114	114	32	
				実績値	87	120		
			達成率	76%	105%			
	当該指標を選定した理由	文化財施設としての公開だけではなく、定期的な展示と企画展示等を組み合わせることで、来館者数の増加が見込まれるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	館内での生け花展示96回 企画展示等18回 (R4実績) ※令和5年度は8ヶ月間休館						

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	町家活用推進事業	事業番号	008-058
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	152,356	92,351	254,407	251,888	113,013
13 財源内訳					
国支出金	68,036	38,530	121,393	120,942	34,100
府支出金			0	0	2,100
市債	61,200	34,600	92,400	92,000	18,200
その他 (寄附金等)	4,530	3,543	5,000	16,760	9,285
受益者負担金(使用料、手数料等)	682	554	1,396	782	252
一般財源	17,908	15,124	34,218	21,404	49,076
14 人件費 (b)	15,580	23,780	24,350	24,760	25,690
15 年間経費(c)=(a)+(b)	167,936	116,131	278,757	276,648	138,703

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R4	決算	1,638
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R4	決算	1,638	1,638	町家歴史館受付等業務	R4	決算	9,900	9,118
		R5	予算	1,821	1,821		R5	予算	3,500	3,288
	謝礼金	R4	決算	572	572	機械警備業務(山口家住宅・清学院)	R4	決算	1,608	1,608
		R5	予算	404	404		R5	予算	2,073	2,073
	費用弁償(通勤費)	R4	決算	404	404	登録有形文化財清学院土地賃借料	R4	決算	408	408
		R5	予算	404	404		R5	予算	421	421
	指定文化財等建造物保存修理工事監理	R4	決算	9,415	0	指定文化財等建造物保存修理工事費	R4	決算	195,371	3,216
		R5	予算	1,955	178		R5	予算	26,000	1,300
	展示制作設置業務	R4	決算	28,026	196	その他(需用費、役務費など)	R4	決算	4,546	4,244
		R5	予算	27,935	8,312		R5	予算	48,500	30,875

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 堺市立町家歴史館入館者数	人	5,742	9,221
② 上記①にかかる年間経費	千円	11,561	13,800
③ 単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,013	1,497
備考(算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 新型コロナ対策を継続しながら、山口家住宅・清学院」において展示やワークショップを開催し、入館者数は回復傾向にある。また、環濠エリアの周遊拠点としての役割が期待される「鉄炮鍛冶屋敷」の整備(令和5年3月保存修理工事完了、令和5年度は展示制作等)、ならびに鉄炮鍛冶屋敷の開館にあわせてリニューアルオープンする山口家住宅・清学院の保存修理工事設計業務を行い(令和5年度に工事実施)、令和6年度以降の来館者数の増加への準備を進めた。また「歴史的風致維持向上計画」の推進より、鉄炮鍛冶屋敷の整備においては、地方公共団体指定物件にもかかわらず国の補助金充当が行われたこと、登録有形文化財の保存修理などについても、計画策定地域のみを対象とした国費の補助率の加算(5%)が行われ、補助事業者及び市の経費負担軽減となった。

#### KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 歴史的なまちなみを有する環濠エリア内に位置する町家歴史館山口家住宅及び清学院では、歴史資源や文化の魅力創出による交流人口の創出を図るため、館内では、季節のしつらいや伝統産業の展示を行い、堺ならではの魅力を高め、歴史文化に触れる機会や新たな魅力を高めた。また「堺市歴史的風致維持向上計画」の推進においては、重点区域とする大仙公園エリア(百舌鳥古墳群及び周辺区域)と環濠都市エリア(環濠都市区域)内の事業の進捗管理を行う一方で、第2期計画(令和5年度～24年度)を策定し、多くの人が訪れ、市民が愛着を感じる個性と活気あるエリアとするよう事業継続・新規展開を図るための庁内連携体制を再構築した。以上のことから、KPIの目標値である2025年度の大仙公園エリアへの来訪者数60万人並びに環濠エリアへの来訪者300万人の達成に向け寄与した。